

タウンミーティング開催結果の概要

1 参加者及びアンケート回収状況

日	時	場	所	参加者数	アンケート 回収件数
1 1 月	6 日 (木)	新百合トウェンティワン		1 2 1 人	6 8 件
1 1 月	7 日 (金)	アイビーホール青学会館		7 7 人	4 3 件
1 1 月	2 0 日 (木)	産業振興会館		2 3 6 人	1 3 1 件
1 1 月	2 2 日 (土)	エポックなかはら		1 0 7 人	7 0 件
合 計				5 4 1 人	3 1 2 件

2 市民に提示した当面の課題

新たな総合計画の策定作業の着手にあたり、市長がタウンミーティングで市民に示した当面の課題

はじめに

- (1) なぜ、新たな総合計画を策定するのか（時代環境の2つの大きな変化）

地域社会を取り巻く様々な課題

- (2) 防災・防犯といった都市の安全性確保の課題
 (3) 暮らしやすく、きめ細やかな地域環境の整備
 (4) 地域課題を解決する仕組みの構築
 (5) 市民の利便性を高める市役所・区役所改革
 (6) 高齢化の影響と課題
 (7) 少子化の影響と課題
 (8) 教育の課題
 (9) 市民サービスの再構築

産業・経済・文化・芸術について

- (10) 首都圏における川崎の潜在能力と産業経済
 (11) 臨海部の課題
 (12) 市民の誇り ～芸術文化、生涯にわたる市民の諸活動そして多摩川～

まとめ

- (13) 市民の定住志向の高まりにどう応えるか
 (14) 新たな総合計画に向けた4つのポイント

3 市民からの主な意見

(交通網について)

- ・縦方向の交通網の整備が重要である。
- ・地下鉄事業を推進すべきである。
- ・川崎縦貫道路 期に関する定期的な説明が必要である。
- ・南武線連続立体交差事業の促進。
- ・臨海部の東海道貨物支線の旅客化の促進。

(緑・農業について)

- ・都市農業を営む方が減っているが、税金面等の優遇措置が必要である。
- ・緑政と農政が別であると、緑の保全につながらないことから、統合化する。
- ・緑の予算の充実が必要であり、予算の大幅な組替えが必要である。
- ・北部は自然が多いが、市が買収してはじめて有効になる。
- ・水の保全や癒しなど農業の持っている多様性を踏まえ、振興していくことが必要である。
- ・生田緑地ゴルフ場をやめて、プレイパークにしてはどうか。

(生活環境について)

- ・放置自転車の問題は、駐輪場の整備だけではなく、いかに駐輪してもらうかのソフトの工夫が必要である。
- ・生活道路が整備されていない。
- ・たばこのポイ捨てについて、路上喫煙禁止のような厳しい対応が必要である。

(教育について)

- ・小学校が過密状況にあるので、学区を柔軟にしてもらいたい。
- ・市立学校の中高一環教育など教育の魅力づくりが必要である。

(市民意識のあり方について)

- ・市民が自分でやれることはやることが大事であり、そうした環境整備と支援が必要である。
- ・市民による課題解決の仕組みづくりが必要である。
- ・定年を迎えた人が、川崎で生きるという窓口等をつくって、真の市民化を促進する。
- ・市民の自分達の意識を高める必要がある。

(文化・共生について)

- ・芸術文化に関して、ハード整備が優先されているが、ソフト系に予算を振り向けるべきである。
- ・多文化共生の都市づくりが必要である。
- ・ホームレスの自立支援の促進

(行政運営・行財政改革について)

- ・横浜市との連携した行政運営（合併も含めて）が必要である。
- ・市全体を南部、中部、北部の3つの市に分割する。
- ・議会の政務調査費の使途が市民から見えづらい。
- ・川崎市のホームページがわかりにくく、また、ふれあいネットが使いにくいので、改善してもらいたい。
- ・サービスの見直しについて、どういう判断基準で行ったのか情報公開が必要である。
- ・職員は身分保障にあぐらをかいている。

4 アンケート集計結果 資料2-1のとおり

5 アンケート集計の傾向について

(1) 設問ごとの特徴

市民生活の安全・安心

「今以上のサービス・対策については、地域や個人がそれぞれの負担で行うべき」と考える方と「負担が増加しても、行政でもう少しきめの細かな対策を講じるべき」と考える方が、概ね半数ずつであったが、会場別では、若干傾向が異なっている。

福祉・市民サービス

「現行の負担の枠の中で、サービス内容や提供の仕方などを見直しながら、真に必要なサービスに限って提供していくべきである」と考える方が約8割で、負担が増えることには否定的な回答が多かった。

義務教育

公立学校の学区制・学校選択制についての設問であったが、「学校選択制を導入するなど、児童・生徒の選択の幅を広げるべき」との回答が約7割を占め、「学区制を維持すべき」との回答は4人に1人とどまっている。

市民活動・地域コミュニティ

約5割の方が「町内会・自治会等の地域団体と一緒に活動したい」とする一方で、3人に1人は「地域を離れて、より広範な範囲で目的を同じくする人と活動したい」と考えている。また、「コミュニティ活動をするつもりはない」という方も1割いた。

公共・公益施設の整備（市民利用施設）

「施設整備の充実を優先するより、施設の機能転換や多目的化、既存施設の有効活用などを優先すべき」との回答が約8割と、「これからも施設整備の充実を重点的に進めていくべき」との回答を大きく上回っている。

道路等の都市基盤整備

「地域の環境整備を重点に行うべき」との回答が半数を超えた一方で、基幹的インフラの整備を行うべき」との回答も3割を占めた。

産業・経済・まちづくり

「工場等の跡地には新たな産業の誘致を」とする回答が約5割あり、一方で、住宅や商業等の新たな用途を取り入れたまちづくりを進めて行くべき」とする回答も3割を超えている。

市役所・区役所像

- ・この一年間の市（区）役所の利用回数については、10人に1人が0回との回答で、半数以上の方が年間3回以下との回答だった。一方で、年間13回以上という方も1割いた。
- ・利用要件については、大半が住民票等の証明書類の交付申請を挙げ、次いで、保健・福祉関係の相談、不在者投票、打合せを挙げる方が多かった。
- ・「区役所の機能強化」と「電子市役所化」の選択肢では、ほぼ半数ずつの回答であった。
- ・区役所で行ってほしい事務事業としては、放置自転車対策などの地域の課題事業のほか、市民活動支援や（権限移譲を前提に）運転免許の更新、パスポートの交付、加えて、市役所で扱う業務全般の窓口をとの要望があった。

(2) 会場別の特徴

いわゆる「川崎都民」を対象とした第2回（青学会館）については、他の会場とは若干異なる結果が認められた。これは、都市在勤の方の意向が反映されたものと考えられる。このようなタウンミーティングを市外で開催するのは今回が初めての試みであったが、今後も幅広く市民意見を聴く工夫をしていきたい。

6 川崎市政へのご意見・ご要望

地域が抱える課題の指摘のほか、以下のようなご意見、ご要望を数多くいただいた。

- ・ 区役所機能の拡充、権限強化が必要だ。
- ・ 南部と北部とでは、地域的な課題が大きく異なる。地域的な課題は区役所が解決を。
- ・ 電子市役所化には、ITの万全のセキュリティと高齢者等IT弱者への配慮が必要だ。
- ・ ごみの毎日収集等は、サービス過剰ではないか。
- ・ 近隣の自治体と連携して、生活圏に対応したサービスの提供を。

タウンミーティングでのアンケート集計結果

今後の地域社会のあり方やまちづくりのあり方、行政のあり方について、あなたのお考えをお聴かせください。
 なお、このアンケートは新たな総合計画の策定にあたり、参考とさせていただきます。

(各設問ごとに、あなたのお考えに近い項目のいずれかひとつに 印をお付けください。
 また、ご意見があればご記入ください。)

市民生活の安全・安心

川崎市は、刑法犯罪発生率が横浜市に次いで2番目に少なく、検挙率は1位と、大都市(政令市)の中では安全な都市と言えますが、それでも犯罪件数は最近増加傾向にあり 交通事故や救急車の出勤も増加、さらには大地震の発生も心配されますが…

1	今以上のサービス・対策については、地域や個人がそれぞれの負担で行うべきである。
2	負担が増加しても、行政でもう少しきめの細かな対策を講じるべきである。
3	その他。 ご意見 ()

集計結果		新百合21	青学会館	産業振興会館	エポック中原	～ 合計
	選択肢 1	40%	66%	45%	47%	47%
	選択肢 2	50%	30%	47%	34%	42%
	選択肢 3	4%	2%	6%	13%	7%
	無回答	6%	2%	2%	6%	4%

福祉・市民サービス

川崎市でも、少子高齢化が進み、福祉サービスの受け手が増える一方で、これを支える世代の人口が減っていくことが明らかです。今後の負担とサービスのあり方について、考えをお聴かせください。

1	現行の負担の枠のなかで、サービス内容や提供の仕方などを見直しながら、真に必要なサービスに限って提供していくべきである。
2	負担が今より多くなっても、現行のサービス水準を維持していくべきである。
3	その他。 ご意見 ()

集計結果		新百合21	青学会館	産業振興会館	エポック中原	～ 合計
	選択肢 1	77%	88%	81%	70%	79%
	選択肢 2	19%	5%	12%	17%	14%
	選択肢 3	4%	7%	5%	6%	4%
	無回答	0%	0%	2%	7%	3%

義務教育

学校の週休 2日制が定着し、学習指導要領も改定されるなど、公的な教育のあり方も変わりつつありますが…

1	公立学校においては、児童・生徒の通学などに配慮して、学区制を維持すべきである。
2	公立学校においても、学校選択制を導入するなど、児童・生徒の選択の幅を広げるべきである。
3	その他。 ご意見 ()

集計結果		新百合21	青学会館	産業振興会館	エポック中原	～ 合計
	選択肢 1	24%	33%	21%	27%	24%
	選択肢 2	72%	65%	74%	68%	71%
	選択肢 3	4%	2%	2%	1%	3%
	無回答	0%	0%	3%	4%	2%

市民活動・地域コミュニティ

今後、労働時間が短縮されたり、高齢者が相対的に増加するなかで、これまでよりも市民が職場以外で自由な時間を過ごすことが多くなりそうですが・・・

1	町内会・自治会等、さまざまな地域団体と一緒に活動したいと思っている。
2	地域を離れて、より広範な範囲で目的を同じくする人と、NPOその他を中心に活動したい。
3	コミュニティ活動をするつもりはない。
4	その他。 ご意見 ()

集計結果		新百合21	青学会館	産業振興会館	エポック中原	～ 合計
	選択肢1	56%	39%	44%	43%	46%
	選択肢2	36%	49%	31%	37%	36%
	選択肢3	6%	5%	15%	10%	11%
	選択肢4	1%	0%	4%	3%	2%
	複数回答	1%	2%	2%	3%	2%
	無回答	0%	5%	4%	4%	3%

公共・公益施設の整備（市民利用施設）

川崎市では、これまでさまざまなニーズに応え、数多くの市民利用施設を整備してきました。市民の年齢構成やライフスタイルの変化の中、新たな施設整備のニーズがある一方、既存施設の老朽化、利用活性化も課題になっていますが・・・

1	対象となる年齢層や利用目的別にみると、市民利用施設はまだ不足しているため、これからは施設整備の充実を重点に進めていくべきである。
2	施設整備の充実を優先するより、地域の特性や実情に応じた利用ができるよう、施設の機能転換や多目的化、既存施設の有効活用など、ソフト面での工夫を優先すべきである。
3	その他。 ご意見 ()

集計結果		新百合21	青学会館	産業振興会館	エポック中原	～ 合計
	選択肢1	21%	9%	14%	16%	15%
	選択肢2	77%	84%	82%	74%	80%
	選択肢3	1%	7%	2%	4%	3%
	無回答	1%	0%	2%	6%	2%

道路等の都市基盤整備

川崎市では、これまで都市化を背景に、道路・下水道など都市基盤の整備に努めてきました。計画どおりに整備が進み、格段に便利になった地域もあれば、未だに一部に不便を強いられている地域があるという状況も否めませんが・・・

1	幹線道路の整備等、基幹的インフラの整備を重点に行うべきである。
2	生活に密着した道路の補修や整備及び交差点改良、交通安全対策など、地域の環境整備を重点に行うべきである。
3	その他。 ご意見 ()

集計結果		新百合21	青学会館	産業振興会館	エポック中原	～ 合計
	選択肢1	34%	37%	31%	20%	30%
	選択肢2	54%	51%	65%	69%	62%
	選択肢3	6%	5%	2%	1%	3%
	複数回答	3%	0%	0%	1%	1%
	無回答	3%	7%	2%	9%	4%

産業・経済・まちづくり

臨海地域には200ヘクタールを超える遊休地が存在すると言われており、内陸部でも大規模工場が移転するなど、産業の空洞化が進んでいます。多摩川を挟んで東京に隣接している川崎のポテンシャル(潜在的能力)の高さを、もう一度再認識したうえで、対応策を検討していく必要がありますが…

1	工場の跡地等には、研究機関や新たな産業の誘致を積極的に行っていくべきである。
2	空洞化が進む地域には、住宅や商業等の新たな要素を取り入れたまちづくりを進めていくべきである。
3	その他、遊休地の利活用について妙案がありましたらお聴かせください。 ()

集計結果		新百合21	青学会館	産業振興会館	エポック中原	～ 合計
	選択肢1	50%	51%	45%	52%	49%
	選択肢2	40%	30%	40%	33%	37%
	選択肢3	9%	9%	8%	11%	9%
	複数回答	1%	3%	1%	0%	1%
	無回答	0%	7%	6%	4%	4%

市役所・区役所像

この1年間に、何回ぐらい市役所や区役所を利用されましたか。

⇒

集計結果		新百合21	青学会館	産業振興会館	エポック中原	～ 合計
	年間0回	9%	28%	14%	17%	15%
	年間1～3回	27%	32%	39%	44%	37%
	年間4～6回	4%	12%	11%	9%	9%
	年間7～12回	16%	2%	3%	6%	6%
	年間13回以上	16%	7%	8%	11%	11%
	無回答	28%	19%	25%	13%	22%

それは主にどのような用件ですか。

川崎市では、電子市役所をめざし各種申請のIT化を進めると同時に、地域に密着した課題は、区を中心に解決していく仕組みを作りたいと考えていますが…

1	なるべく多くのことを区役所で解決できるようにし、それぞれの区役所が、地域に密着して独自に課題の解決に当たっていくべきである。
2	電子市役所化を進め、極力、市民が市役所・区役所等に行かなくても済む体制をつくるなど、区役所窓口等の組織の簡素・効率化を優先すべきである。
3	その他。 ご意見 ()

集計結果		新百合21	青学会館	産業振興会館	エポック中原	～ 合計
	選択肢1	62%	40%	38%	45%	45%
	選択肢2	31%	44%	53%	41%	44%
	選択肢3	0%	9%	5%	7%	5%
	複数回答	3%	2%	2%	0%	2%
	無回答	4%	5%	2%	7%	4%

また、区役所で行ってほしい手続きや事務事業等がありましたら、お聴かせください。

川崎市政に対するご要望やご意見があれば、お聴かせください。